

愛媛大学大学院医学系研究科修士課程における
学位論文の審査及び最終試験の実施に関する細則

〔平成16年4月1日〕
制 定

(総則)

第1条 愛媛大学大学院医学系研究科修士課程における学位論文の審査及び最終試験の実施については、愛媛大学学位規程及び愛媛大学大学院医学系研究科規則によるほか、この細則に定める。

(学位論文の提出)

- 第2条 学位論文の審査を受けようとする者は、学位申請書(様式1)に所定の学位論文様式(様式2)による学位論文を添え、指導教員の承認を得て、医学系研究科長(以下「研究科長」という。)に提出しなければならない。
- 2 提出する学位論文は1編とし、正本1部、副本2部にそれぞれ学位論文要旨(様式2-付表)を添えるものとする。
 - 3 提出期限は、修了予定年次の1月8日(9月修了予定の者については、7月8日)とする。この場合において、当日が休業日に当たるときは、その直後の平日とする。

(学位論文の受理及び看護学専攻会議への付託)

- 第3条 研究科長は、前条の規定により学位論文の提出があったときは、看護学専攻会議(以下「専攻会議」という。)に付議し、受理の可否を決定する。
- 2 研究科長は、受理した学位論文の審査及び最終試験を専攻会議に付託する。

(審査委員会)

- 第4条 専攻会議は、学位論文ごとに速やかに審査委員会を設ける。
- 2 審査委員会は、主査1人及び副査2人の計3人の委員をもって組織する。
 - 3 審査委員の主査には指導教員を充てるものとする。
 - 4 審査委員には准教授又は講師を加えることができるものとする。

(学位論文の審査及び最終試験)

- 第5条 審査委員は、学位論文の審査及び最終試験を行う。
- 2 学位論文の審査及び最終試験は、2月末日(9月修了予定の者については、8月末日)までに終了するものとする。
 - 3 成績評価は、合格又は不合格とする。
 - 4 審査委員の主査は、審査の結果を、学位論文審査及び最終試験結果報告書(様式3)により、3月5日(9月修了予定の者については、9月10日)までに、専攻会議に報告しなければならない。

(合否の決定)

- 第6条 専攻会議は、前条第4項の規定による報告書、修士課程修了認定資料(様式4)及び主査の審査等の経過報告に基づいて審査する。
- 2 専攻会議の審査等の判定は、学位審査投票用紙(様式5)により、研究指導教員の無記名投票で行う。
 - 3 専攻会議は、第1項の審査結果を研究科教授会に報告する。
 - 4 研究科教授会は、前項の報告に基づいて合否を決定する。

(学位論文の保管)

第7条 審査に合格した学位論文は、各分野で保管するものとする。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

(略)

附 則

この細則は、平成26年6月26日から施行する。

学 位 申 請 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

愛媛大学大学院医学系研究科長 殿

指導教員 承認印	
-------------	--

申 請 者

平成〇〇年度入学

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻

領域

氏名

印

愛媛大学学位規程第 5 条第 1 項の規定により、下記の学位論文
(正本 1 部, 副本 2 部) を添え, 学位の授与を申請します。

記

論文題目	
------	--

学 位 論 文 様 式

学 位 論 文			
題 目			
指導教員			
平成 年度入学			
愛媛大学大学院医学系研究科			
修 士 課 程	看護学専攻	領域	
氏 名			
		令和 年 月 日受理	

- 1 規 格 A 4 版の用紙を原則とすること。
欧文の場合は、ダブルスペースで記載すること。
- 2 装 丁 市販のバインダー等で綴り，その表題紙には，上記事項を記載すること。
- 3 上記以外の細部については，各領域の定めるところによる。

〈記入上の注意〉

1. 提出書類については，「様式〇」の記載は消すこと。また，要旨の「様式2-付表」
「キーワードの日本語で3～5語」「2000字以内」などの注意書きも消すこと。
2. 要旨には，研究倫理審査委員会の正式名称と承認番号を入れる。
3. 要旨には，文献は記載しない。

様式2-付表

学 位 論 文 要 旨				
論文提出者	入 学 年 度		領 域	
	氏 名		指 導 教 員	
論文題目				
キーワード (3～5語)				

学位論文審査及び最終試験結果報告書

令和 年 月 日

愛媛大学大学院医学系研究科長 殿

審 査 委 員	
主 査	印
副 査	印
副 査	印

氏 名	
専 攻	看護学専攻 領域
論文題目	

上記の者につき、下記のとおり審査しましたから、報告いたします。

記

成 績	論 文 審 査	最 終 試 験

(成績の評価は、合格又は不合格とする。)

様式2-付表

学 位 論 文 要 旨				
論文提出者	入 学 年 度	平成〇〇年度	領 域	〇〇〇〇看護学
	氏 名	〇 〇 〇 〇	指導教員	〇 〇 〇 〇
論文題目		〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の〇〇〇〇〇〇に関する基礎的研究		
キーワード (3~5語) 〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇				
<p>1 1ポイント程度の活字で、1行40字、50行以内に収まるようにする(2,000字以内)。</p> <p>次のページの下枠線は、このページの下枠線とほぼ同じ位置にくるように設定する(字数が少ない場合も同様の枠内)。</p> <p>要旨は、2枚を越えてはならない。</p> <p>【目的】 【方法】 【結果】 【考察】</p>				

修士論文の執筆要領

- 1) A4版横書き，11ポイントを用いて，1ページに800字（32字×25行）でワープロ（ソフト）を用いて印字すること。上下及び左右のマージンは，それぞれ30mmとする。
- 2) 表紙に表題（14ポイント），研究科名，所属領域名，氏名，修了予定年月を書く。次のページに，目次を書く。各ページ番号は，下の空白部分の中央に明記する。
- 3) 論文の構成は，原則Ⅰ．緒言，Ⅱ．方法，Ⅲ．結果，Ⅳ．考察，Ⅴ．結語（まとめ），Ⅵ．謝辞（必要最小限とし，指導教員に対する謝辞は述べないこと），Ⅶ．文献の順とする。ただし，必要に応じて適宜項目を追加してもかまわない。さらに細目が 必要な場合は，1．2．・・・，1) 2)・・・，(1) (2)・・・，① ②・・・の区分を用いること。
- 4) 文章は，当用漢字及び新かな遣いを用い，数字は算用数字を用いる。外国人名及び訳が一般化されていない事象や物質名は，英語表記とすること。
- 5) 慣用化されていない略語や略字を用いる場合は，文中の最初に表記したところで括弧内に，例えば，看護ストレス尺度（Nursing Stress Scale：NSSと略）のように記載すること。
- 6) 文献の記載方法は下記に従う。

(1) 文献リストについて

- ①文献は著者名のアルファベット順に列記する。
- ②全著者名を表記する。

【雑誌掲載論文】

著者名（発行年次）：論文の表題，掲載雑誌名，巻（号），最初のページ数 - 最後のページ数。

【単行本】

著者名（発行年次）：書名（版数），出版社名，発行地。

著者名（発行年次）：論文の表題，編者名，書名（版数），ページ数，出版社名，発行地。

【翻訳書】

原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数），ページ数，出版社名，発行地。

【オンライン版】

・DOIのある場合

著者名（発行年次）：論文の表題，掲載雑誌名，号又は巻（号），最初のページ数 - 最後のページ数，doi：DOI番号。

・DOIがない場合

著者名（発行年次）：論文の表題，掲載雑誌名，号又は巻（号），最初のページ数 - 最後のページ数，URL。

(2) 本文中での引用について

- ①著者名，発行年次を括弧表示する。但し，共著者がいる場合は筆頭著者のみを表記し，（〇〇他，2017）あるいは（〇〇 et al.，2017）とする。
- ②同一著者が同じ年に複数の論文を発表している場合は，（〇〇，2016a）（〇〇，2016b）と，発行年次の後にa，b，c・・・を付けて区別する。
- ③文献が2編以上の場合は，（〇〇，2015；△△，2013）とし，記載の順序はアルファベット順とする。

7) 利益相反の有無を引用文献の前に記述し開示すること。

8) 図表及び参考資料は，本文とは別にⅦ．文献の後にまとめておくこと。これには，ページを記入しない。なお，論文及び図表等の作成については，Publication Manual of the American Psychological Association（江藤裕之，前田樹海，田中建彦 訳：APA論文作成マニュアル，医学書院）を参照のこと。